

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	16	学校名	仙台市立向山小学校	校長名	黒須 功太郎
------	----	-----	-----------	-----	--------

1 取組のタイトル 「地域の特色を生かした環境活動」～ 地域との連携 ～



2 取組の紹介

(1) どんぐりの森づくりプロジェクト

地域にある野草園と連携した活動で、生活科の学習の中で「環境教育」として行っています。1, 2年生の児童が向山中央公園に落ちているどんぐりを野草園職員の皆さんの御協力のもと、ポットに植えて、苗木を育てる活動です。数年かけて育った苗は、3年生が東日本大震災で被災した海岸公園に市民の方々と協力して植栽しています。どんぐりの森をつくる自然の営みの大切さを学び、震災前の自然豊かな森を取り戻す震災復興の一助となっています。どんぐりの苗は学校と隣接する向山中央公園で育てているので、児童が気軽に成長の様子を見に行くことができるのも、この地域の特色です。



(2) 緑化委員会による花壇の整備や全校児童による落ち葉拾い

高学年の児童による緑化委員会の活動を通して、自然や植物に触れる機会を設けています。昇降口前の花壇に花を植え、毎日交代で水やりや草取りしながら大切に育てたことで、全校児童が季節の花の美しさを感じることができました。

また、秋になると校庭の木々が様々な色に色づきます。自分たちの使う校庭で気持ちよく遊べるように全校児童が協力し、落ち葉拾いを行いました。赤や黄色などの様々な色の落ち葉を拾うことで、秋の深まりや季節の変化を味わう様子が見られました。

3 取組の成果（児童の変容）

向山地区は野草園、向山中央公園、広瀬川など自然環境に恵まれた地域であることから、地域の方々や近隣の公共施設と連携して、四季の変化など自然環境を意識して学習を進めることができました。どんぐりの苗木を育てている向山中央公園は、季節を感じ取ったり、自然を活用したりする学習の場であるとともに、児童の日常生活にとって身近な遊び場にもなっています。

上記の活動以外にも、学童農園での田植え・稲刈り、校地にある竹林での竹の子彫りなど、実際の体験を通し豊かな自然に触れることで、くらしと住環境についての知識が深まっていきます。今後も、学年に応じた「環境教育」に積極的に取り組んでいくことで、より良い環境について考えようとする気持ちを育てていきます。